

# この人紹介

当社従業員の趣味や特技、自慢のペットなどをご紹介する企画『この人紹介』。今回はレース活動をされているこちらにお話しを伺いました。



倉庫一課  
齋藤 周麻さん

お疲れ様です。今日はよろしく  
お願いします。

お願いします。  
本日は珍しい趣味をお持ちとい  
う話を耳にしましたので、お話  
を聞かせてください。早速です  
が、どのような趣味でしょう？  
オートバイでのサーキット  
走行です。

確かに、あまり聞かない趣味で  
すね。何処のサーキットを走る  
のでしょうか。

一か所ではなくて色んなと  
ころに行きます。メインは岡山  
国際サーキットを走ることが  
多いんですが、最近ではバイク  
仲間の紹介で徳島のサーキッ  
トにも行ったりしています。

去年までは250ccクラスだっ  
たのですが、今年から大型クラ  
スにステップアップして600cc  
クラスに出場しています。  
出場：サーキット走行って  
ロードレースですか！  
はい。趣味というか、レース



250ccレース前

活動をしています。  
サーキットへはどのくらいの  
頻度で行ってるんですか？

基本的には大会の前日走行  
のみだったのですが、今年本  
格的に、岡山国際サーキットに  
月二回のペースで行っていま  
す。その岡山に行く合間に、徳  
島のサーキットに行ったりし  
ています。

休日とは殆どバイクに乗っている  
感じですね。齋藤さんがレース  
に興味を持ったきっかけは？

バイクの免許を取ってから  
は、皆と同じようにツーリング  
を楽しんでいたのですが、それ  
では物足りなくなつて(笑)。そ  
んなときにテレビで「モト  
GP」という番組を見たのが  
きっかけで、レース活動をしよ  
うと思いました。  
物足りなかつたんですね(汗)  
では次にレース活動で一番思  
い出に残っていることは？

レース活動を始めてから二  
年でCBRカップの250ccクラ



表彰台



チームオーナーのカフェ(チーム名)

又で三位に入賞して表彰台に  
立ったことですね。  
**表彰台！すごいですね。やはり  
練習の成果ですか。**

それもありますが、凄い天才  
でもない限りレースって個人  
だけの力ではやっぱり上位入  
賞や継続するのは難しいです。  
チームとして参加して、いろい  
ろなサポートを受けながらで  
ないと。

私はリトルパインレーシン  
グチームという所に所属させ  
てもらっているの、今の活動  
ができて、成績が残せている  
と思っています。

なるほど、サポートですか。個  
人の腕だけではないのですね。

当然個人のテクニクは重  
要です。あとマシンの性能や  
レースでの駆け引きなども  
色々あって…

(以下、マニアックなお話が続  
きますが、紙面の都合で割愛し  
ます)

**表彰式って、やはり感動しまし  
たか？**

もちろんです！言葉では言  
いにくいですが、凄く嬉しく  
て、感動して、これからも頑張  
ろうという気持ちにもなれま  
した。

**話は変わって、バイク用品はど  
こで買うことが多いですか？**

基本はネットで買うことが  
多いです。ブーツやグローブな  
どは南海部品で揃えています。  
ヘルメットはOGKカブトと  
いうメーカーで買っています。  
装備にもこだわりがあるんで  
すね。飽きがきたりしません  
か？

全く飽きないですね！どう  
したら速くなれるか毎日悩ん  
でいます(笑)。

**楽しい悩みの種ですね。今の趣  
味で良かったと思う事は？**

人とのつながりですね。レー  
スで初めてお会いする方もい  
ますし、チームに所属している  
ことで南海部品さんにサポー  
トもしていただいていますし、今  
までの交流関係や人生観・考  
え方が変わったし、レース活動  
を通じて人とのつながりが広



600ccレース(手前側)

がったのは、すごく良い経験だ  
なと思います。

**確かにそうですね。今後の目標  
はやはり表彰台ですか？**

表彰台もですが、国際ライセ  
ンスを取り全日本ロードレー  
スに出ることが目標です。

国際ライセンスを取るため  
には、地方選手権で三位以上  
付くポイントを一定数以上取  
得しないと、まず挑戦する資格  
が与えられません。挑戦でき  
ても取れないことも当然ありま  
す。一度取ってしまうえば運転免  
許のような更新はないのです  
が、とにかく狭き門です。

**大きくて厳しい目標ですね。そ  
れだけに遣り甲斐もありそう  
ですね。**

まずは仕事を一生懸命しな  
がらにはなりますが、たどりの着  
きたい目標です。

**23歳、若さに溢れチャレンジ  
精神旺盛な齋藤さんでした。お  
忙しい中、取材に感謝してい  
ただき、ありがとうございました。**



# この人紹介

当社従業員の趣味や特技、自慢のペットなどを紹介する企画『この人紹介』。今回は、自他ともに認める車好きのこの方にお話を伺いました。



第一輸送部輸送一課  
武岡英次さん(48歳)



自宅ガレージ

武岡さんは車が好きだと聞きますが？

はい。車好きが高じて、自宅新築の際に庭にガレージを作りました。シャッター3つ！これは凄い！大きなガレージのある生活って、車好きには憧れですよ。

新築前は、自宅から離れた場所に作業場所を確保していたんですが、今は本心に自由にやれます。それにしてもこんな広いガレージで一体何を？

実はレース活動をやっていて、自分でいろいろとチューニングを行っているんです。

レース？サーキットってこの近くにありましたっけ？

公道ではちゃんと安全運転です。ご心配なく。兵庫県のサーキットで開催されていたゼロヨンレース(400mの直線距離を誰が一番速いタイムで走るか)に参加していました。スポーツカー好きの友達の影響でチューニングショップ



雑誌掲載

に出入りするようになって、そこで整備の手伝い等もしながら自車の改造やチューニングをしました。当時は西日本二位にまでなっただんです。

雑誌に掲載されるとは、すごいですね

ありがとうございます。当時全国大会への切符も手にしたんですが、当日になってまさかの大雨でレースが中止になり、全国への挑戦ならず…無念でした。

この頃から参加者の改造がどん

どん過激になり始めたのとお世話になっていたショップの方が亡くなられたこともあって、ゼロヨンレースからは遠ざかってしまいました。過激に、ですか。ちなみに武岡さんはどんな改造を？

うまく言えるかどうか分かりませんが…

最初に参加した時の車はなんとATのクレスタだったんです。ノーマル時の倍の560馬力まで出力アップしましたがやはりATでは限界があり、思い切って当時は珍しかった6速MTのスープリを購入。チューンアップを繰り返して最終760馬力まで改造しました。

車体が重くゼロヨンには不利でしたが、それでも加速は強烈で、フロントが浮いて視界も急激に変わります。フロントタイヤの接地面が減っていくのがステアリングから伝わってくるんです。なにしろ、400mを11秒で走り抜けるわけで、あっという間に210km/h前後まで到達します。シートに張り付くような加速に耐えつつ、軽量を活かして先行したライバルを視界に捉えながら徐々に追いつき抜き去るあの興奮を覚えたらもうやめられなかったですね。

うわ、そんな車で公道を走っているんですか？

だから公道ではスピード出しませんが、笑ちゃんと車検も通りますし、通勤にも安全に使用していましたよ。街乗りからレース



スープラ

まで対応できるチューニングをしてくれるお店と出会えたおかげですね。  
なるほど、奥が深いですね。ゼロヨン以外ではどんなレースを？  
今はミニサーキットでのレースやジムカーナ(コーナリング技術を競うもの)、また一般公道を完全に封鎖して行われるレースに参加しています。  
ゼロヨンのような専門性の高い改造が不要ということですか？  
全く必要ないかと聞かれたらそうでもないですが、参加者の幅も広くなりましたし、自分でやれる範囲で色々挑戦しています。  
やれる範囲とは言え、たくさん



サーキットにて

工具等も必要でしょうか？  
ある程度は揃えてあるんですよ。工具ボックスはもちろん、スチールラックやコンプレッサ、塗装用スプレーガン、タイヤチェンジャーと...  
あの、タイヤチェンジャーなんてお店で見ないんですか？  
レースタイヤと街乗りタイヤを頻繁にシヨップで交換することを考えたら、買った方が早いんじゃないかと、思い切っていました(笑)  
思い切り...ですか...ちなみに所有車輛は？  
今はレース用のソアラが1台、実用性の高い軽自動車2台、レストア用に1台を所有して



ガレージ内

います。  
レストアとは？  
文字通り「復活」です。古い車を新車当時のように生き返らせるんです。私の場合は復活+改造なので、純粋なレストアではないかもしれませんが、まったく動かなくなってしまうって、あの車を自分で修理・整備して、あとは塗装というところまで来しました。念願の完成まで、もう少しです。  
今後の夢などはありますか？  
プロドライバーとして安全運転で仕事をしながら、休日には好きな車をいじって、レストアも

車を語っているときは少年のような表情になる武岡さん、取材へのご協力ありがとうございました。憧れのガレージライフを満喫してください。



RX-7レストア中

完成させたいし、工具も充実させたいし、板金技術なんかも身に着けたいです。  
そして参加するレースでは1位を取りたいです。2位では終わりたくないんですよ。あの大雨で中止になってしまった全国大会の無念が、余計にそう思わせるのかも知れません。



# この人紹介

当社従業員の趣味や特技、自慢のペットなどをご紹介する企画『この人紹介』。

今回は、釣り好きが高じて釣具メーカーとテスター契約までしていたというこの方にお話を伺いました。



第一輸送部輸送三課  
坂田 高志さん

以前伺いましたが、釣具メーカーとテスター契約をしていたんですよね？

そうですね。縁あって七年ほど千葉県のメーカーさんのテスターをやらせてもらっていました。商品開発のお手伝いとして、ルアー用のロッド開発をしてましたね。

ロッドって竿のことですよ？素人からするとそんなに開発するところがあるのかと思ってしまつてますが…



何を仰いますか！ロッドと言っても素材から長さや固さ、糸を通すガイドの位置や数に至るまで、とても難しく拘りがあつてますよ。

それは失礼しました。ところで、どうして釣具メーカーと契約することになったんですか？

小豆島で育つたものから釣りはすごく身近だったんですけど、専門学校進学を機に尼崎に引っ越しまして、そこでバス釣りに出会いました。小豆島に戻って、香川でも大会が開かれていたので、参加する内に釣果を競い合う楽しさを知り、それで仲間たちと「地元の小豆島でもこんな楽しい大会を開催したい！」と思って、みんなで協力して大会運営に乗り出しました。

それはアクティブですね！

当時の仲間たちの助けがあつたからできたことですね。それぞれの得意分野で分担して、ホームページ作成担当、地元での広報担当や、メーカーへの協賛依頼担当など、できることはなんでもやりました。

毎年開かれる国内最大規模の釣具メーカーのショーに出かけて、メーカーに協賛をお願いしたりしているうちに、テスターとして契約させていただく

ことになったんです。その後大会運営も軌道に乗って、四国・中国・関西からも参加者があつたり、プロの方もゲストで来てくれたりしました。

行動することって大事ですね。今も大会に関係したり出たりしているんですか？

今は個人の趣味として楽しんでいきます。



大物のアコウを釣り上げて

この写真、アコウです。どうですか？  
うわ！私の知っているアコウのサイズではないんですが…



船上でニコリ

これは日本記録にあと100g  
というところまで迫った大きさ  
でした。  
日本記録！そんな大きいのが  
よく釣れるもんですね。  
釣れる？違います。狙って  
「釣る」んです！  
水中の見えない相手との  
駆け引きですから、狙った魚の  
習性はもちろんだ、エサについ  
ても詳しく調べます。そして普  
段の生息場所や産卵に適した  
地形、潮の流れ、風の向きや  
水温などなど色んなことを  
考えながら、その日好むであろ  
うルアーを選んで獲物の前まで  
どう運ぶかイメージしながら  
「勝負」をするんです！



今日も大漁

ししし、失礼しました(汗)  
とにかく大自然が相手の  
スポーツなので、条件が揃う  
てことは絶対じゃないんです。  
だから同じポイントに行っ  
ても、前回の正解が正解じゃな  
く、毎回試行錯誤しながら  
勝負できるって言うのが釣りの  
醍醐味ですね。  
普段はどこに釣りに出かける  
んですか？  
最近では南予まで出かけて  
アカハタやオオモンハダを  
狙ったりしますが、もう四国  
四県は当たり前に出かけます  
よ。島根にも行って日本海で



同僚と

釣りを楽しむこともありませ  
小豆島から遠隔地採用して  
いただき社宅制度を利用して  
引越してきましたが、四国  
中央市はどこに釣りに行く  
にも立地としては最高ですし、  
仕事も楽しいし、ノンでも働けて  
本当に楽しんでいます。  
社内の釣り仲間も多いんですか？  
釣りを趣味にしてる方は  
多いので、よく一緒に出掛け  
ます。でも一言で釣りと言っ  
ても、獲物・手段・場所等かなり  
細分化されるので、みんなが  
揃うっていうのは難しいです  
けどね。



快く取材に応じて下さり  
ありがとうございました。またビックリする  
ような大物が釣れたら…  
じゃなくて、釣り上げ  
たら教えてください。